

# オーセンティシティに関する連続研究会 第3・4回

開催日時  
2023年 **11月18日(土)**

【第3回】 11:00 - 13:00

【第4回】 14:00 - 16:00

## 【第3回】 文化観光のオーセンティシティとインタープリテーション

＜共催＞日本イコモスEP、早稲田大学インバウンド・ビジネス戦略研究会

### (1) 開催趣旨

本研究会では、文化観光における文化資源の「保全」「活用」及び「解釈」（インタープリテーション）を職業とする専門家が、その資源の正しい「歴史的理解」を促進する（オーセンティシティを保つ）ために何を知り何を必要とする必要があるのかについて考えます。

### (2) プログラム (11:00-13:00)

- 1) 開会挨拶
- 2) 趣旨説明
- 3) 講演①「ポスト・トゥルース時代の観光－嘘と欺瞞の文化遺産－」  
宗田好史（関西国際大学国際コミュニケーション学部 観光学科 教授）
- 4) 講演②「観光の視点からのオーセンティシティ」  
池上重輔（早稲田大学経営管理研究科 教授）
- 5) 質疑応答・パネルディスカッション  
＜話題提供＞
  - ①城の「場所」としてのオーセンティシティ（武藤美穂子 日本イコモスEP）
  - ②ICOMOS文化遺産観光国際憲章（2022年）と大洲城（桑原佐知子 日本イコモスEP）
- 6) 閉会挨拶

※プログラムの順番や内容は変更となる場合があります。

## 【第4回】 デジタル時代における文化遺産のオーセンティシティ

### (1) 開催趣旨

本研究会では、文化遺産をめぐるデジタル技術の発展に着目して、文化遺産のオーセンティシティを考えます。

### (2) プログラム (14:00-16:00)

- 1) 趣旨説明 八並廉（九州大学法学研究院准教授）  
岡崎瑠美（芝浦工業大学建築学部建築学科准教授）
- 2) 講演①「デジタル技術とオーセンティシティの関係性の探求 -Europeana Tech Conferenceでの学びから」  
井川博文（文化庁文化資源活用課文化財調査官）
- 3) 講演②「文化遺産デジタル情報のオーセンティシティ？ 議論の足場づくりのために」  
野口淳（公立小松大学次世代考古学研究センター特任准教授）
- 4) 質疑応答・ディスカッション

### お申し込み方法

上記連続研究会の第3回・第4回へ御参加いただける方は、次のURLまたはQRコードのリンク先よりお申し込み下さい。（第3回、第4回への共通申し込みフォームです。）

<https://forms.gle/RHLgL4NobBM39yzL8>



# 登壇者略歴

## 【第3回】文化観光のオーセンティシティとインタープリテーション



**宗田好史 (むねた よしふみ) (関西国際大学国際コミュニケーション学部 観光学科 教授)**

【専門】都市計画、イタリア語、文化財保存、観光学、和食文化、地域経営、景観計画

【略歴】浜松市生まれ。法政大学工学部建築学科、1985年同大学院修了。

イタリアのピサ大学・ローマ大学大学院で都市・地域計画学を専攻、1997年「イタリアの歴史的都市部の再生を可能にした都市政策の研究」で工学博士（京都大学）。

1988年国際連合地域開発センター、1993年京都府立大学助教授、2007年准教授、2012年教授。2016年4月-2020年3月京都府立大学副学長・和食文化研究センター長。国際記念物遺跡会議（ICOMOS）国内委員会理事、京都府農業会議専門委員、京都市景観まちづくりセンター理事、（特）京都府地球温暖化防止活動推進センター理事、（特）京町家再生研究会理事など。2022年4月より現職。最近の著書に「インバウンド再生 コロナ後への観光政策をイタリアと京都から考える」学芸出版社2020



**池上重輔教授 (いけがみ じゅうすけ) (早稲田大学経営管理研究科 教授)**

【専門】経営戦略、グローバル経営

【略歴】早稲田大学商学部卒業。一橋大学より博士号（経営学）を取得。ポストン・コンサルティング・グループ（BCG）、MARS JAPAN、ソフトバンクECホールディングス、ニッセイ・キャピタルを経て2016年より現職。Academy of International Business (AIB) Japan chair、国際ビジネス研究学会（JAIBS）理事・国際委員会委員、異文化経営学会 理事。早稲田ブルー・オーシャン戦略研究所 所長、早稲田グローバル・ストラテジック・リーダーシップ研究所 幹事。2015年より東洋インキSCホールディングス社外監査役。英国ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院MBA、英国国立シェフィールド大学 政治学部 大学院修士課程国際関係学 修士、英国国立ケント大学 社会科学部 大学院修士課程国際関係学 修士。観光関連著書に「インバウンド・ビジネス戦略」（2019）、「インバウンド・ルネッサンス 日本再生」（2021）（ともに日本経済新聞出版社）等

## 【第4回】デジタル時代における文化遺産のオーセンティシティ



**井川 博文 (いかわ ひろふみ) (文化庁文化資源活用課 文化財調査官)**

早稲田大学理工学術院博士後期課程中退。公益財団法人 文化財建造物保存技術

協会を経て現職。2021年4月から2023年10月までICCROM（文化財保存修復研究国際センター）に出向し、プロジェクトマネージャーとしてトレーニングコースの運営や、デジタル技術を中心とした日本の専門家と海外の専門家の交流を促すイベントの企画運営等を担当した。



**野口 淳 (のぐち あつし) (公立小松大学次世代考古学研究センター特任准教授)**

明治大学大学院文学研究科修了。明治大学校地内遺跡調査団、金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員研究員などを経て現職。

専攻は先史考古学。主なフィールドは、日本、南アジア、中米。近年は、考古学・博物館資料・文化遺産の3D計測とデータ利用にも関わっている。

考古学・文化財のためのデータサイエンス・サロン主宰